

山崎圭一業績リスト 平成26(2014)年3月8日(土)

年	月	タイトル
単著(本)		
2013	3	『進化する政治経済学—途上国経済研究ノート』レイライン社
2006	3	『リオのビーチから経済学』新日本出版社
共著(本)		
2012		「第9章 ブラジル左派政権下の地域開発—大豆・石油依存の成長から内発的発展へ—」(藤田和子・松下冽編著『新自由主義に揺れるグローバル・サウス—いま世界をどう見るか—』ミネルヴァ書房)
2009		「(第10章)ブラジルの都市自治の新技术—『参加型予算』の動向と課題」(住田育法監修『ブラジルの都市問題』春風社、pp.251-270)
2007	5	「中南米出身の移住労働者に関する一考察—2006年アンケート調査結果の報告—」(『エコノミア』第58巻第1号、通巻第161号、5月刊 (内田智允氏との共著)、1-31頁)
2005	3	「財政危機を民主的に乗り越える」(内橋克人・佐野誠編『ラテン・アメリカは警告する—「構造改革」日本の未来』新評論、75-102頁)
2004	4	「第10章 地方分権と住民参加」(西島章次編・細野昭雄編著『ラテンアメリカ経済論』(現代世界経済叢書シリーズ7)ミネルヴァ書房、199-215頁)
2004	3	「第6章 『都市システム』の変容と地方分権化」(堀坂浩太郎編著『ブラジル新時代—変革の軌跡と労働者党政権の挑戦』勁草書房、3月20日発行、115-138頁)
2003	12	「『ドル化』—中南米を中心に」(紺井博則・上川孝夫編著『グローバリゼーションと国際通貨』日本経済評論社)
2002		「ブラジルにおける公共事業—産業基盤整備から住宅投資へ」(金澤史男編著『現代の公共事業—国際経験と日本』日本経済評論社)
2001		「第1章 ケネディ『イギリスにおける課税』—社会史的租税思想史の古典」(宮本憲一・鶴田廣巳編著『所得税の理論と思想』税務経理協会)—横田茂関西大学教授と共著(第1章第II節第5節・第6節執筆担当)
2001		「途上国の環境政策」(佐藤誠編著『社会開発論—南北共生のパラダイム』有信堂高文社)
2000		「開発と地方自治—ブラジルにみる途上国の地方分権化」(土生長穂編著『開発とグローバリゼーション』柏書房)
2000		「途上国の経済政策」(田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編著『現代の経済政策(新版)』有斐閣)
1997		「大都市の環境悪化の実態とエコ・シティへの模索」西沢利栄・水野一編著(『ラテンアメリカの開発と環境』新評論)
1996		「ブラジルの住宅・都市建設と金融制度—サンパウロを中心に—」(小島麗逸・幡谷則子編著『発展途上国の都市政策と社会資本建設』アジア経済研究所)
1996		「ブラジルの都市を調べる」(佐藤誠編『地域研究調査法を学ぶ人のために』世界思想社)
1996		「環境と貿易」(高月紘・仲上健一・佐々木佳代編著『現代環境論』有斐閣)
1996		「途上国の経済政策」(田代洋一・萩原伸次郎・金澤史男編著『現代の経済政策』有斐閣)
1994		「都市化と環境保全の展望」(川端正久・佐藤誠編著『新生南アフリカと日本』勁草書房)
1993		「地球環境問題と国際分業—南北問題論的アプローチ」(中川信義編『国際産業論』ミネルヴァ書房)

1992		「悪化の一途:ラテンアメリカの都市環境」藤崎成昭編著(『発展途上国の環境問題—豊かさの代償・貧しさの病い』アジア経済研究所)
1991		「大都市の環境問題—サンパウロ市を中心に」(国本伊代・乗浩子編(『ラテンアメリカ 都市と社会』新評論))
単著(学術雑誌等掲載の論文・研究ノート)		
2012	5	「ブラジル労働者政権下での都市住宅政策の新自由主義的性格—ボトム・ミリオンの未救済—」(『エコノミア』第63巻第1号)
2011		「ブラジル左派政権下の地方自治体—大豆・石油依存の成長から内発的発展へ—」(『アジア・アフリカ研究』第51巻第3号、通巻401号、1—22頁)
2009	9	「維持可能な発展視点からのブラジル経済の腐敗に関する一考察」(『横浜国際社会科学研究所』第14巻第3号、9月、1(193)—19(211)頁)
2009	3	「(第3章)地方の活性化とその動因」(ITI[財団法人国際貿易投資研究所]編『ブラジルの消費市場と新中間層の形成』ITI、39—66頁)
2008	11	「(第9章)ブラジルの地方財政」宮本憲一・鶴田廣巳編著『セミナー現代地方財政Ⅱ』勁草書房、11月発行
2008		「クリチバ市の家庭系廃棄物政策」『ラテン・アメリカ時報』通巻第1384号、秋号(日本ラテンアメリカ協会刊行)(pp.30-34)
2008	1	「『ブラジルコスト』の歴史的背景とコスト削減の展望—未熟な『福祉国家』の税源涵養策」『貿易と関税』2008年1月号
2006	8	「ブラジルの対外関係」(『経済』第131号8月号、133—138頁)
2006	5	「ブラジルの都市自治の新技术—『参加型予算』の動向と課題」(『現代ブラジルにおける都市問題と政治の役割』平成16年[2004]～17[2005]年度科学研究費補助金[基礎研究(C)]研究成果報告書、5月(研究代表者:住田育法・京都外国語大学教授) 175～183頁)
2006	11	「ブラジル参加型予算の意義と限界」(日本地方自治学会編『自治体二層制と地方自治』地方自治叢書19、日本地方自治学会年報第19巻)
2006	9	「ラテン・アメリカの政治・経済動向をどうみるか」(『経済科学通信』第111号、2—6頁)
2006	7	「南米で広がる自治体『参加型予算』」(『住民と自治』第519号、58—64頁)
2006	1	「中南米の環境問題をめぐる法律と地方政治の動向」(『環境と公害』第35巻第3号、WINTER、25—30頁)
2005		「ブラジル都市自治体の行政能力に関する規模別考察」中川文雄・山田睦男編『植民地都市の研究』国立民族学博物館J-CAS(地域研究企画交流センター)(309—336頁)
2003	8	「ブラジル財政・地方財政の課題と展望(下)」(『ラテン・アメリカ時報』ラテン・アメリカ協会(社団法人)、第46巻第8号、通巻第1343号)
2003	7	「ブラジル財政・地方財政の課題と展望(上)」(『ラテン・アメリカ時報』ラテン・アメリカ協会(社団法人)、第46巻第7号、通巻第1342号、16—23頁)
2003	10	「途上国財政論の課題—地域研究(エリア・スタディ)への統合」(『財政と公共政策』創刊号、通巻第34号、第25巻第3号)
2003	1	「日本のODAの新しい課題—批判の更新と成熟を求めて」(『環境と公害』第32巻第2号)—桜井国俊沖縄大学教授と共著
2001	5	「ブラジル財政危機の要因と財政改革の課題」(『エコノミア』横浜国立大学経済学会、第52巻第1号)
2001	6	「メキシコ・シティの都市整備と環境政策」(『ラテン・アメリカ時報』第44号第6号、通巻1317号)
2000	7	「熱帯地域の環境政策入門」(『環境と公害』第30巻第1号)

1999	11	『リアル』経済下におけるブラジル財政フェデラリズムの変容(『ラテン・アメリカ論集』日本ラテン・アメリカ政経学会年報誌、第33号)
1999	11	「ブラジルの歳入分与制度」(日本地方財政学会編『地方財政改革の国際動向』日本地方財政研究叢書第6号、勁草書房)
1999	4	「開発と地方自治」(『アジア・アフリカ研究』第39巻第2号、通巻第352号、第2号)
1998	4	「途上国の政治経済システムと環境悪化」(『環境と公害』第27巻第4号、春号)
1998	2	「開発経済学と地方自治」(『エコノミア』第48巻第4号、2月)
1997		"Descentralizacion en el Gran San Pablo, Brasil: ¿Un Paso hacia Economías Municipales Competitivas? en Mutsuo Yamada (org.) Ciudad y Campo en America Latina, JCAS Symposium Series 2, National Museum of Ethnology (スペイン語)
1994		「途上国における地方分権化—ブラジルの1988年地方財政改革の問題点」(日本地方自治学会編『都市計画と地方自治』敬文堂)
1993	1	「途上国経済と地方分権—1988年地方財政改革に見るブラジル経済のジレンマ」(『経営研究』第43巻第5・6合併号)
1992	3	"An Inquiry into the Problem of 'Pollution Export' in Relation to the Growth of the Japanese Pollution Abatement Industry" (『大阪市大論集』第66号)
1991	9	「途上国経済と大都市化—ブラジル・サンパウロを事例とする複合的都市化仮説」(『大阪市大論集』第63号)
1990	9	「サンパウロ市の公害」(『大阪市大論集』第60号)
1990	6	「70年代以降のサンパウロの住宅問題—複合的都市化の諸要因」(『経営研究』第41巻第1・2合併号)
書評		
2011		「書評 遠藤環『都市を生きる人々』(京都大学学術出版会)」(『地域経済学研究』第23号、103頁)
1994	5	「書評 山田ほか共著『ラテンアメリカの巨大都市』二宮書店(ラテンアメリカ学会『ラテンアメリカ学会学会報』第49号)
1990	5	「<紹介>『ラテンアメリカの大気汚染』(T・H・ヒルカー、H・ワイトナー編)」(『公害研究』春季号)
翻訳		
2010	9	「ヴァルデマル・サントス裁判—たばこ農園労働者の人権を保障するための過程へと道を開いた勝訴—」(『横浜国際社会科学研究所』第15巻第3号、9月号。179(361)頁～192(374)頁。奥田若菜(神田外語大学専任講師)との共訳。原著者: Vânia Mara Morreia dos Santos 弁護士。 原題: "O Caso Valdemar Santos — Uma Vitória que Inicia um Processo para Garantir o Acesso dos Fumicultores ao Direito"
1998		アントニー・ニューカーク著「民主主義は定着したか—南アフリカの課題」(文部省科学研究費報告書、研究代表者: 佐藤誠/立命館大学) (佐藤誠編著『南アフリカの政治経済学』明石書店)
1994		「第8章 第三世界」(ワイツゼッカー著、佐々木建ほか監訳『地球環境政策』有斐閣)
1994		ファイゼル・イスマイル著「第5章 工業戦略と再分配」(川端正久・佐藤誠編著『新生南アフリカと日本』勁草書房)
1994		モニカ・ピニャネス著「サンパウロ市行政: 財政と住宅政策(1989年—92年)」(小島麗逸編著『発展途上国の都市政策と社会資本建設』アジア経済研究所)
その他(事典記事、行政報告書、随想等)		
2013		「鳴子ツーリズム—湯治宿を拠点としたエコロジカルな地域開発」(『arc』レイライン社、第17号、72—79頁)

2012		「経済の数字とどうつきあうか」(『arc』レイライン社、第16号、68-75頁)
2010		「貧困解消・幸福追求から、人間開発(発達)への転換」(『arc』レイライン社、第14号、100-111頁)
2009	1	「さんぼみち—ブラジルの『人間都市』と公害裁判」(『環境と公害』第38巻第3号、Winter号 1月刊)
2009		「新たな経済学の視点」(『arc』レイライン社、第13号、94-103頁)
2008	6	「さんぼみち:ブラジルのクリチーバ市で暮らして」(『トランスペアレンシー・ジャパン 2007年度年報第4号』57-60頁)
2007	5	「<刊行物紹介>汚職・腐敗研究とバランス感覚」(『トランスペアレンシー・ジャパン 2006年度年報』第3号、特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパン[TI-J]、88~95頁)
2007	1	「学者が斬る:ブラジル成長経済が生む矛盾」(『週刊エコノミスト』1月16日号、46~49頁)
2005	7	ブラジル日本商工会議所編『現代ブラジル事典』新評論 担当記事:都市と農村、北部・北東部vs南部、国内労働移動、地方分権化、地方行財政、コラム(多年度計画と地域開発)、(以上112-119頁)、膨張する都市、大気汚染、水質汚染、ゴミ・廃棄物、環境犯罪規制、環境保護と市民参加、リサイクル、コラム(サンパウロ大都市圏の環境汚染)(以上、332-344頁)
2002	4	「第3章 各分野・イシューの現状と課題 3-1 環境 3-1-1 概況と環境政策」および「同章同節 3-1-2 都市環境」(国際協力事業団国際協力総合研修所『第2次ブラジル国別援助研究会報告書—新たなパートナーシップの構築に向けて』国際協力事業団—細野昭雄神戸大学教授ほかとの共著)
2001	6	「メキシコ・シティの都市・環境・福祉」(『地理月報』二宮書店、通巻第463号)
2000		発展途上国の環境問題に関連する項目(第1.13節「発展途上国の環境問題」内項目第1.13.1番から項目第1.13.19番まで)(吉田邦夫監修『環境大事典 CDROM版』日本工業調査会・長瀬産業)
2000	3	「ブラジルの1988年以降の財政危機・地方財政危機の原因と打開策について」(大蔵省財政金融研究所研究部『開発経済学研究派遣制度研究報告書』—平成11年度開発経済学研究派遣制度による委託研究成果報告書)
1999		発展途上国の環境問題に関連する項目(第1.13節「発展途上国の環境問題」内項目第1.13.1番から項目第1.13.19番まで)(吉田邦夫監修『環境大事典』日本工業調査会)
1997		「平成9年度対ペルーODA国別評価報告書」(外務省経済協力局評価室)—堀坂浩太郎(上智大学教授)、櫻井敏浩(日伯紙パルプ資源開発株式会社取締役企画調査部長、元OECFペルー駐在員事務所駐在)、ほか外務省側担当者2名との共著
1992	9	「都市自治体の環境と開発—『世界大都市会議』に参加して」(『アジア研ニュース』アジア経済研究所、第136号)
1992	4	「『未来の根』—パリ世界NGO会議に参加して」(『公害研究』第21巻第4号、春号)
学会報告		
2012	11	10日 ラテンアメリカ政経学会第49回全国大会研究報告第Ⅱ部 「ラテンアメリカにおける『ポスト新自由主義』の成果と課題」(座長:佐野誠・新潟大学教授)での報告「ルーラ政権以降のブラジルの住宅政策の特徴と課題」(於:東洋大学)
2010	10	23日・24日 第67回日本財政学会全国大会(於:滋賀大学)セッションD 国際比較(24日13:00~15:30、第23講義室)報告「中南米中道左派諸国の地方財政の特徴と課題」
2009	6	6日・7日日本ラテンアメリカ学会第30回定期大会でのシンポジウム<ラテンアメリカにおける民主主義と社会運動>におけるパネリスト報告:「ブラジルにおける参加型予算を中心に」
2009	5	30日・31日第17回日本地方財政学会(開催校:関西大学)にて、「南米における『参加型予算』の課題と展望」(第1分科会海外事情1での報告、討論者は横田茂関西大学教授)
2007	6	日本ラテンアメリカ学会全国大会(6月2日・土曜日および3日・日曜日に南山大学にて開催)のパネルE(3日午前)に参加し報告。報告テーマは「ブラジル諸都市の住宅財政の近年の動向」。司会は住田育法・京都外国語大学教授。
2006		日本ラテンアメリカ学会全国大会にて、ブラジルの都市について住田育法教授ほかとパネルを構成し、報告。
2004	11	6~7日「ポスト通貨危機のブラジル地域経済の変化について」日本地域経済学会自由論題報告開催校:(国立大学法人)横浜国立大学

2002	10	26～27日「集権国家ペルーにおける地方分権化」日本財政学会第59回全国大会自由論題報告(討論者:柴田徳衛東京経済大学名誉教授、開催校:東京大学)
2000	10	21～22日「ブラジルの地方財政—大都市比較による実証分析」日本財政学会第57回全国大会自由論題報告(討論者:柴田徳衛東京経済大学名誉教授、開催校:明海大学)
1999	11	13日～14日 日本ラテン・アメリカ政経学会第36回全国大会開催幹事、およびシンポジウム「ラテンアメリカにおける開発とグッド・ガバナンス」企画・司会担当(開催校:横浜国立大学)
1999	10	23日～24日「ブラジル地方財政危機と国際通貨危機」国際経済学会第58回全国大会における自由論題第9分科会での第3報告(座長:西島章次神戸大学教授、討論者:田中祐二立命館大学教授、開催校:大阪産業大学)
1998	11	14日～15日「ブラジルの行財政改革と歳入分与制度」日本ラテン・アメリカ政経学会第35回全国大会研究報告(開催校:神戸大学)
1998	5	29日「ブラジルの地方財政—国際比較の視点から」日本地方財政学会第6回全国大会共通論題報告(討論者:竹内良夫東洋大学教授、横山純一北星学園大学教授、開催校:九州大学)
1997	10	26日「ラテンアメリカにおけるフェデラリズムの現況—ブラジル地方財政を素材として」ラテン・アメリカ政経学会第34回全国大会自由論題報告(開催校:神奈川大学)
1995	12	4～7日 "Descentralizacion y Autofinanciacion de las Grandes Ciudades en America latina: con Enfasis en Case de Brasil" 国立民族博物館において1995年12月4日～7日に開催された国際ワークショップ「ラテンアメリカの都市と農村」に提出した報告書。発表は英語)
1993	11	7日「発展途上国における地方分権化—1988年ブラジル新憲法による地方財政調整制度改革について」日本地方自治学会1993年度全国大会自由論題報告
1991		10日「第3報告 ブラジル・サンパウロの都市化と都市問題—複合的都市化仮説との関連について」日本ラテン・アメリカ政経学会第28回全国大会シンポジウム「ブラジルの環境問題」でのパネリストとしての発表
講演等		
2007	7	3日 東京都町田市教育委員会「まちだ市民国際学」講師担当。テーマは「現代ブラジルの経済社会を考える」。森野分庁舎にて19:00～21:00。
2005	3	「日本ブラジルの間の新パートナーシップ:サステナブル社会の視点から」外務省広報文化交流部、現地日本国総領事館、国際交流基金サンパウロ事務所、サンパウロ大学経済学部ほか共催の講演会。開催地:レシフェ市、マナウス市、サンパウロ市(すべてブラジル連邦共和国) 言語:レシフェとマナウス講演はポルトガル語、サンパウロ講演は日本語(葡語同時通訳付き)。
2003	10	「ODAと公共性」横浜国立大学公開講座(経済学部担当分) 会場:横浜国立大学常磐台キャンパス教育文化ホール
2001	12	13日 Conferencia: Situación Actual de la Economía Japonesa: De la Recesión a la Reactivación, organizado por Asociación de Becarios del Ministerio de Educación del Japón (APEBEMO) Lugar: Auditorio Jinnai, Centro Cultural Peruano Japonés, "El Retroceso Prolongado de la Economía Japonesa y Posibilidades de su Reactivación" Comentaristas: Carlos Aquino (Universidad Nacional Mayor de San Marcos), Isabel Miyashiro (Universidad de Pacifico), etc. 文部省国費留学生協会主催講演会「日本経済の現状:不況から再生へ」(開催地:日秘文化会館神内センター内会議場)での報告「長引く日本経済の低迷と回復の可能性」、討論者:カルロス・アキノ国立サン・マルコス大学経済学部教授、イザベル・ミヤシロパシフィック大学経営学部教授、ほか。スペイン語による講演。